

静岡市町会連合会事務局発行 静岡特集

第174集
56.9

市長と地区連合会長との対話集

(第9) 市民会館会議室

出席者、市側、市長、総務企画財政建設都市開発
下水道各部長

町会側、正副会長、連合町会長等30名

内容

(一) 合浦公園の整備充実について

○市長 合浦公園は明治二十七年開設以来百年に及び、平和公園は、必要整備したが、合浦は芝生、道路、とり小屋、康屋など整備、最近S.L.汽笛車と展示した、競輪場跡地の利用は、検討中だが、公共的建物として初風のお茶、生花等、集會場所を考えているが、大抵は緑地の方向で考えている。

○町会長(木田) 雨天時の桜祭りに大型テント設置してどうか。

○部長(百鳥) 大型テントは困難だが、観光協会とも相談検討して、移動トイレ等考慮している。

総合公園では建物も限定されている、五年度にむけて整備したい。

(二) 除排雪の情報伝達の近代化について

○市長 テレホンサービスについては、技術的にかなり

面倒だ、テープでは事務的で冷たい、事前に町会長へ説明した方がよくないか、検討してみよう。

○部長(奈良) テレホンサービスは終業、かかりすぎる

テレホンサービスも市区の自覚と協力が必要、前提条件だ、排雪車が入るの情報に、どんな道路に雪を投げ、三十分ですむ計画が三時間、もかかり、市民への情報に、ズレがでて、かえって混乱する恐れがある。

○町会長(山ノ内) 困る、雪と捨てようが、市では約束通り片づけられない困る。

○部長(奈良) 雪捨て場の地権者と契約している、地主の氏名をあとで教えてほしい。

(三) 街灯の補助基準について

○市長 昭和三十七年度から補助は実施している、白熱燈料、金全額と補助率最低50%迄保障、ほ、他都市に比して低くはない、しかし、今後、プラスになるよう検討してみよう。

○町会長(川村) 年々ワット数が高くなるので、現行基準では、年々平均補助率が低くなる、甚だ、デメリット、か、けよう、検討願いたい。

(四) 市内の道路、側溝、下水道の年次計画について

○市長 未舗装22%については、年間四、五億で、完成、三八億、同、かかるとして、完成には十年位かかる、需要多いところから、計画的に実施している、側溝、側溝は、道路に比し、お、くれている、完全にするには、百十億、同、位、三十年から三十年かかる、緊急を要するところから、重点的に実施している、当初予算五億、五千万、同、に追加で、四億、同、かけた、除排雪十四億、同、なければ、な、あ、と思、う、

公共下水道は、昭和三十七年度から着手、現在28%の、まで、進んでいる、全国平均並である、なお、

昭和三十六年度から、六十年、同、度、へ、か、け、五、年、計、画、と、な、て、い、る、前、回、の、五、年、計、画、の、倍、以、上、と、見、込、ん、で、い、る、五、十、七、年、度、個、道、道、六、十、年、度、八、重、田、移、居、勝、田、地、区、等、予、定、六、十、一、年、度、より、沖、鎮、方、面、へ、処、理、場、と、予、定、

○町会長(葛西) 泉と市の管理側溝に、落差が、み、ら、れ、る、か、バ、ラ、ン、ス、を、考、え、て、ほ、し、い、

○部長(奈良) 旧、田、田、線、の、こ、と、を、思、う、泉、から、市、へ、移、管、を、申、入、れ、て、い、る、が、市、で、は、側、溝、を、完、成、し、た、ら、移、管、し、て、も、し、い、と、思、っ、て、い、る、

○町会長(森山) 私有地を市へ寄付してほしい場合、地権者が住所不明で困っている、何か便法ないか。

○部長(奈良) 市内に、その、よう、な、場、所、が、何、百、ヶ、所、も、あ、る、市、の、財、産、に、な、ら、ね、ば、手、を、つ、け、ら、れ、ない、の、が、原則、あ、と、で、問、題、が、あ、る、市、で、は、地、権、者、が、わ、か、れ、ば、九、州、で、も、ど、こ、で、も、職、員、派、遣、し、て、印、かん、を、も、ら、い、に、や、る、地、権、者、へ、も、う、一、度、連、絡、を、考、え、て、ほ、し、い、

○町会長(宮城) 家屋の移転に伴い、従来、の、下、水、道、か、道、路、の、中、央、に、な、っ、て、い、る、と、こ、ろ、が、あ、る、か、

○部長(奈良) 移転のあと、下水道も移転する計画になっている、更に現場調査させる。

○町会長(川村) 浅田の処理場の問題は計画にないのか。

○部長(奈良) 浅田は、六次計画以降になる。

市長と地区連合町会長との対話集會

その二

(五) 海岸大橋(仮称)の建設見通しについて

○市長 上述の海岸大橋(仮称)の建設見通しについて、手は打っている。単に安否で沖館間の問題ではなく、本来の港と併展する西部の港と結ぶことになる。直通調査でも港灣関係の車が非常に多い。五十六年度中、二億以内の予算で調査、完成には、二億以内はかかる。五十六年度国の六次港灣整備計画に是非組み入れるよう運動している。近いうち決定版がでる。青森市はかなりランクが上の方らしい。五十七年度中には住民へ説明ができるよう期待している。地域住民の協力をお願いしたい。

○町会長(能登)

古川跨線橋は、今月より工事することだが

○部長(奈良)

古川こせん橋は、カタキている。舗装の内容を斐之車道とガツナリ舗装したい。地下歩道の計画もあったが、調査の結果、地下水の関係で困難のようである。

○町会長(能登)

四車線で渋滞は解消されない。六車線の計画はないか。

○部長(奈良)

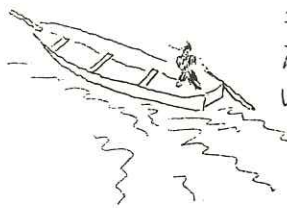
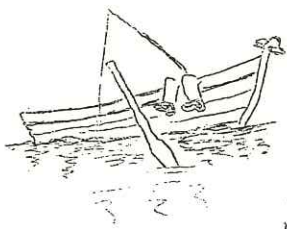
六車線では、用地買収の必要あり、具体化は困難。一つの方法として、三内インターと国道七号線とをぶな立休交差点の工事をすすめていく。五十九年度まで完成の予定。また柗所のガードを早く完成させたい。

(六) 国立大学誘致の見通しについて

○市長 市の重要事業として、ゆきかけてきた。昭和三十八年度県議会で採択されたが、

五十六年三月国立大学設置に関する基本計画もでき、国立公立大学は量より質が検討されてきている。従来よりも大変さびしくなった。青森市だけでなく、県当局の協力が必要。息ながく継続努力したい。

最近、青森、浪岡地区にテクノポリス(技術集積都市)の指定をうけた、具体化してきたい。



○町会長(島西)

今後三十万都市として併展するに、雲谷地区の開弁が必要と思うが。

○市長 雲谷地区は、八甲田を含めて、市のビジョンはある。スキー場、農園を含めて、市民憩いの場として、自然と密着するよう計画を検討中。

(七) その他

○町会長(高坂)

四ツ石橋の改修促進をお願いしたい。住民は水害におののいている。橋ケダの改修をたのむ。地権者へは承認をとっている。

○部長(奈良)

五十七年度の当初予算計画にある。いずれ説明にあかりたい。

○町会長(千島)

台風十五号で稲が黒くなってしまった。二年連続の凶作で困っている。市から力がかしていただきたい。

○市長

これまで二回ほど実地調査をしてきた。市担当課全員で、いま被害の調査をしている。(一時より三時迄で終了)

記録雑感

▲以上二枚にわたる記録は、当日市側の説明と町会側の要望等の要旨を記録したもので、若干筆者の聞き違いなどあるが、し知れない。ご了承ください。問題が大きだけに、行政側とくに市長の説明に負うところが多かった。

▲これらの問題は、連合町会長が地区の町会長会議の際、充分伝達し、話し合い、地域住民代表としての意見を反映できるような態勢づくりが今後必要と思われる。

▲(七)のその他の問題は、地区での市政二人談会などで解決すべき問題で、地区の問題と全市民的問題とは、はっきり区別をつけておく必要がある。地区の問題をこの機会に肩代わりすることがあつてはならないのである。

